

福島第一原子力発電所

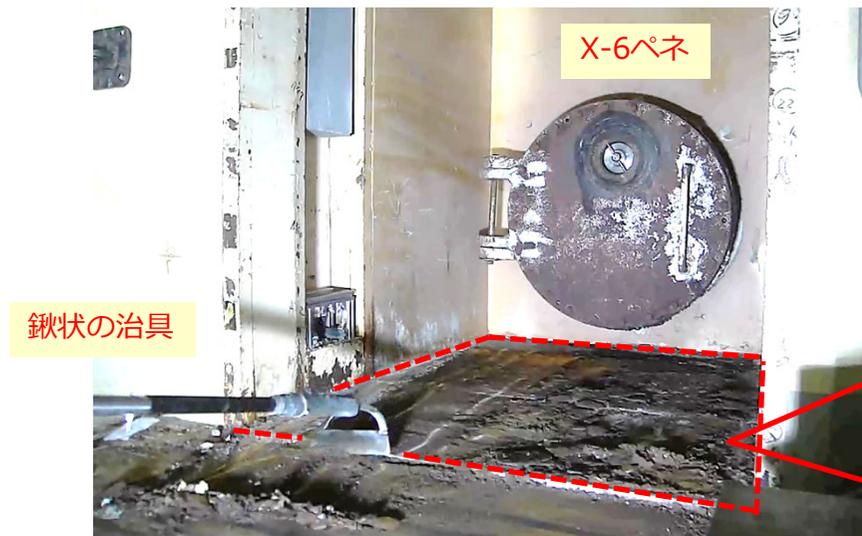
2号機原子炉格納容器貫通孔付近の床面状況確認結果及び今後の対応について

< 参 考 資 料 >
2022年1月6日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

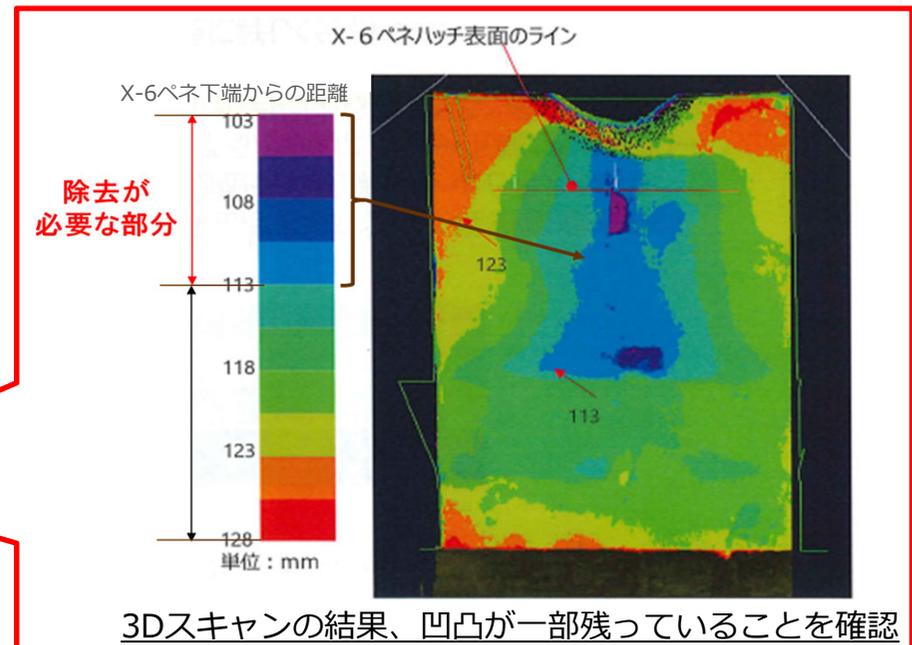
- 2号機においては、原子炉格納容器内部調査及び試験的取り出し作業の準備段階として、作業上の安全対策及び汚染拡大防止を目的として、今回使用する格納容器貫通孔（以下、X-6ペネ）に隔離部屋を設置することを計画しています。
- 隔離部屋の設置のために必要なX-6ペネ配管部磨き作業に取り掛かるため、X-6ペネ小部屋内の敷き鉄板を撤去したところ、床面に凹凸があることを確認しました。

<2021年12月23日 お知らせ済み>

- 床面の状況について、鍬状の治具を使用し調査したところ、凹凸部分が剥がれることを確認しました。
- その後、床面3Dスキャンを実施したところ、凹凸が一部残っており、隔離部屋設置他作業に影響があることから、2022年1月7日（金）以降、準備が整い次第、凹凸の除去を実施することとしました。
- 凹凸除去作業においては、ダスト対策としてX-6ペネ付近を養生し、閉じ込めを確保した上で、ダスト濃度を確認しながら、安全最優先で作業を進めてまいります。



鍬状の治具を使用して凹凸の部分が剥がれることを確認

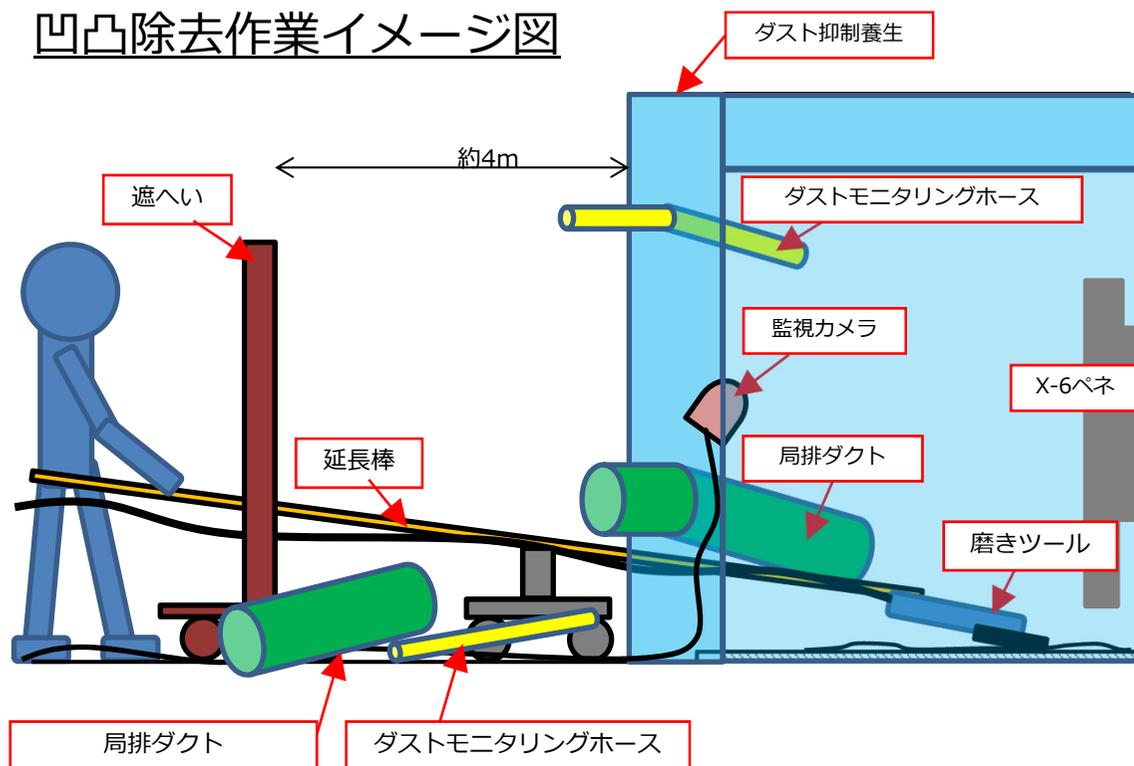


3Dスキャンの結果、凹凸が一部残っていることを確認

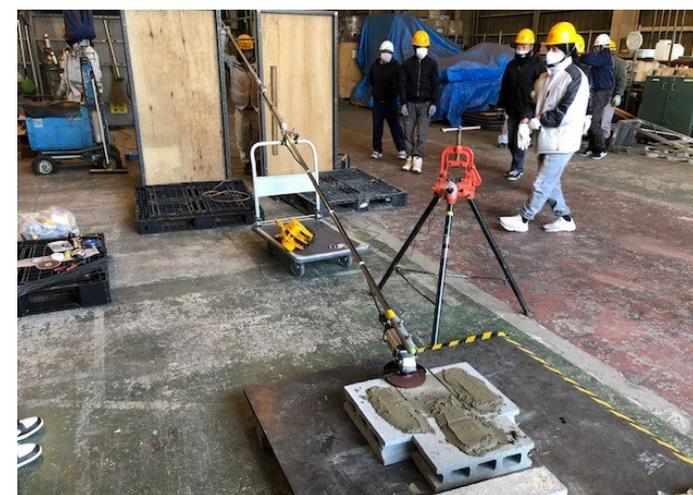
X-6ペネ床面の凹凸除去方法について

- 延長棒の先端に電動磨きツールを取付け、凹凸を除去することを計画しており、1月7日以降、準備が整い次第、除去作業を実施する予定です。

凹凸除去作業イメージ図



ダスト対策養生方法



モックアップ写真